



## 内政

### 1. カービー裁判官はタックスヘイブンに数百万ドルを隠す

カービー上訴審裁判官はタックスヘイブンと呼ばれる場所で投資を行っている。同裁判官は元法務長官で、カーマ大統領とも親しい間柄にある。(当館注：パナマ文書関連の報道)

(6日：ボツワナ・ガゼット紙)

(上記に関し、9日付ウィークエンド・ポスト紙は、何も悪いことはやっていない、不正が見つければ辞任するとの同裁判官の反論を報道。)

### 2. UDC、地方議会選挙での議席を維

23日、野党連合「民主改革のためのアンブレラ」(UDC)はフランシスタウンでの地方議会補欠選挙に勝利した。得票数は、UDC530票、与党ボツワナ民主党(BDP)391票。

(25日：モニター紙)

### 3. ボツワナは象牙を焼却しない

カーマ環境野生動物観光大臣は、象牙の密輸及び象の密猟防止策としては、貯蔵されている象牙を焼却処分しない旨述べた。これはケニアで4月末に開催されるGiant's Club Summit(当館注：象の保護を目的とした国際会議)で象牙の焼却処分が予定されていることを受けたもので、同大臣は、「処分方法は各国がそれぞれ決定できる。象と共生するコミュニティに対し象

は価値のあるものだから保護すべきと強調しているが、象牙の焼却は象に価値がないことを示すのと同じである。」旨述べた。

(28日：デイリー・ニュース紙)

## 外交

### 1. 南部アフリカ地域はベンソン・モイトイ大臣がAUトップポストに就くことを支持

3月23日にハボロネで開催された南部アフリカ地域外相会議で、ベンソン・モイトイ外務国際協力大臣がアフリカ連合委員会(AUC)委員長選挙の南部アフリカ地域の候補として支持を得た(3月31日付外務国際協力省報道発表に基づいた記事)。

(1日：デイリー・ニュース紙)

### 2. ベンソン・モイトイ大臣はAUに貢献する決意を表明

モイトイ外務国際協力大臣は、8日に行った記者会見にて、AUC委員長選挙の立候補を正式に表明すると共に、同候補を支持するカーマ大統領他南部アフリカ諸国首脳に謝意を表しつつ、委員長としての資格、経験等がある旨強調した。

(11日：デイリー・ニュース紙)

(他方、10日付サンデー・スタンダード紙は、同大臣の立候補を評価しながらも、ズマ現AUC委員長がボツワナと同じ南部アフリカの南ア出身であること、カーマ大統領がAU総会にあまり出席していないこと、国際刑事裁判所(ICC)にかかるボ

ツワナの立場がA Uと異なること等がモイトイ候補にとり不利となるため、モロコメ法務長官のI C C裁判官選挙落選、マシーレ・コモンウェルス事務次長（マシーレ元大統領の娘）の事務局長選落選といった過去の経験を踏まえ、カーマ大統領自らが働きかけに努めることが重要である旨主張している。）

### 3. 中国は南シナ海に関する仲裁に応じない

中国が、フィリピンにより一方的に要請された南シナ海に関する仲裁に応じないことは合法かつ正当である。

（2月18日付南シナ海領有問題に関するボツワナ政府見解に対する在ボツワナ中国大使の寄稿）

（2日：ウィークエンド・ポスト紙）

### 4. 中国は重要な開発パートナー

10日に中国大使館により開催された当地中国人経営者向けワークショップにおいて、ケボナン通商産業副大臣は「中国人経営者が現地の法律に沿ったビジネスを展開するための啓発機会として、同ワークショップを評価する」旨発言した。

（12日：デイリー・ニュース紙）

（上記に関し、13日付メヒ紙は「中国による法厳守の誓約を歓迎」との見出しで、当地における中国人経営者の現地労働法及び商法に沿わないビジネス・マナーに言及した上で、この度のワークショップにおいて交わされた誓約が状況改善に資するものと期待する旨報じた。）

### 4. 大使の信任状捧呈

ウルグアイ、南スーダン、オーストラリア、印、メキシコ、スペイン、ネパールの新大使・高等弁務官がカーマ大統領に信任状を捧呈した。印は本年外交関係樹立50周年の由。

（4日、6日、28日：デイリー・ニュース紙）

### 5. ズマ南ア大統領、ボツワナを訪問

18日、ズマ南ア大統領が日帰りでボツワナを訪問する。

（18日：デイリー・ニュース紙）

## 経済

### 1. 経済指標

#### 1) ボツワナの主要経済指数

##### ・経済成長率

2015年経済成長率は1.0%（2014年は3.2%）。

##### ・インフレ率

2016年3月は3.0%（2016年2月は3.0%）。

##### ・為替レート（FNB）

2016年4月29日：

1 プラ=0.0917米ドル

1 プラ=1.293南ア・ランド

1 プラ=9.90円

2016年3月31日：

1 プラ=0.0895米ドル

1 プラ=1.316南ア・ランド

1 プラ=10.15円

### 2. ダイヤモンド産業

#### 1) デビアス社、ダイヤモンド価格上昇

2015年、ダイヤモンド原石価格を約

15%下落させたデビアス社であったが、4月第3週、今年の第一四半期の売上げ上昇を反映し、原石価格を2%上昇させた。これは、ダイヤモンド市場の深刻なスランプからの脱却の兆しと言えるかもしれない。(18日：ウィークエンド・ポスト紙)

### 3. エネルギー・資源

#### 1) モルプレA発電所改修工事、韓国企業が受注

斗山重工業(韓国企業)は、2013年より稼働停止していたモルプレA石炭火力発電所(132MW規模)の改修工事を受注した。

(4日：ウィークエンド・ポスト紙)

#### 2) モルプレB発電所7・8号機事業、韓国企業が直接交渉権を取得

今月第4週、公共調達委員会(PPADB)は、モルプレB石炭火力発電所拡張事業に関し、鉱物エネルギー水資源省による韓国企業ジョイント・ベンチャー(大宇、KEPCO)との直接交渉を許可した。PPADBによれば、本事業を請け負うIPP事業者は、300MW級ブラウンフィールド発電機(150MW級2基)の資金繰り、設計、建設、運営、維持・管理、廃炉までを一括して行う義務がある。モカイラ鉱物エネルギー水資源大臣はメディアに対し、「落札者が決定したのではない。大宇・KEPCOとの直接交渉が承認されたのである。本事業は競争入札とはならず、入札図書をベースに直接交渉を行う」旨述べた。

(22日：メヒ紙)

### 4. 食肉産業

#### 1) バッファローの侵入、口蹄疫の恐れ

先日、カニエ(当館注：首都ハボロネより南に車で1時間)付近においてバッファローの侵入が確認され、口蹄疫の発生の恐れがあるとして問題視されている。これにより、第11地区(当館注：首都ハボロネ、カニエ、牛肉産業の拠点となっているロバツェを含む南東地区)内における食肉処理の一時的な停止措置が取られた。ボツワナ食肉委員会が運営するロバツェの食肉処理場も稼働停止しており、第11地区における牛肉不足が予想される。

(15日：メヒ紙)

#### 2) 対EU牛肉輸出停止

農業省は、第11地区でのバッファロー侵入の確認を受け、同地域産牛肉の対EU輸出を停止する旨発表した。

(13日：デイリー・ニュース紙、メヒ紙)

### 5. ボツワナ、鉱業部門格付けにおいて高ランク

カナダのシンクタンク、フレイザー・インスティテュートは「鉱業企業調査2015」において、鉱業部門における政策・法整備のランキングで109カ国中第14位に格付けされた。また、鉱業部門における投資環境ランキングでは109カ国中第39位(アフリカ諸国内では第5位)に格付けされた。ボツワナは、アフリカ諸国内では、鉱業部門における投資環境の整備が進んでいると言えるだろう。

(24日：サンデー・スタンダード紙)

## **6. ムーディーズ国債格付け，ボツワナはA2維持**

ムーディーズ・インベスターズ・サービス社は、ボツワナの国債格付けを「A2」とランクした。格付けの主な要因としては、GDPの65%に相当する外貨準備を保有している点、政治情勢が継続的に安定している点等が挙げられる。一方で、経済多角化の遅れやダイヤモンド産業への依存はリスクとして指摘されている。

(26日：メヒ紙)

## **7. 通商産業省，改名**

通商産業省は、1日付けで、投資通商産業省へと改名された。

(6日：デイリー・ニュース紙，ガゼッタ紙)